



インフォ・マート

Info Mart

自主公演のチケットのお求め・お問合せはこちらへ

04-2998-7777 | <http://www.muse-tokorozawa.or.jp>

vol.89



マリインスキー歌劇場管弦楽団
怒涛のロシア音楽
Valery Gergiev

ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団
ドイツ音楽の真髄
Michael Sanderling

Disney on CLASSIC Premium Concert

『パイレーツ・オブ・カリビアン／呪われた海賊たち』フィルム∞オーケストラ ▶ P3

社会風刺コント集団 **ザ・ニューズペーパー** ▶ P6



Valery Gergiev

怒涛のロシア音楽

巨匠ゲルギエフの 新たな伝説がはじまる!



© V. Baranovsky

2014年10月、所沢ミュージズでのチャイコフスキー交響曲第6番『悲愴』で、語り草となる超の付く名演を残したゲルギエフ&マリインスキー歌劇場管弦楽団が、3年振りにアークホールに登場する。ミュージズのアークホールを「世界でもトップクラスの名ホール」と評価するゲルギエフが、今回所沢のために選んだプログラムは哀愁と情熱が交錯するチャイコフスキー・ヴァイオリン協奏曲、そして孤高の天才オムソルグスキーが残した『展覧会の絵』というロシア音楽史を代表する2つの傑作。しかもヴァイオリン・コンチェルトには、1999年に世界最難関といわれるバガニニ国際ヴァイオリン・コンクールで史上最年少優勝を果たした天才・庄司紗矢香が出演するというのも、ゲルギエフの強い要望があったから実現した嬉しいサプライズだ。

1988年にゲルギエフがマリインスキー歌劇場の芸術監督に就任しすでに30年近い年月が流れたが、1991年のソビエト連邦の崩壊時には劇場も混乱を極め、優秀な奏者が次々劇場を去るなど苦しい時期が続いた。しかし、ゲルギエフは不屈の情熱と「魔術師」とも評される卓越した音楽的手腕で伝統ある劇場を復活させ、オペラとシンフォニーの両面で「サンクトペテルブルクの奇蹟」といわれる驚嘆の演奏水準を実現した。所沢ミュージズでも「シエラザード」で聴衆を熱狂させた初登場の2002年以来、今回が通算7度目の公演となるが、公演を重ねる度に目に見えて演奏水準が上がって

魔術師ゲルギエフが紡ぐ ロシア音楽の真髄



Michael Sanderling

ドイツ音楽の真髄

究極のブラームス・プログラム!



© Nikolaj Lund

古都ドレスデンが誇る名門ドレスデン・フィル。1870年の創設以来、150年近い長い歴史を持っているが、驚くべきは何といつてもブラームス、チャイコフスキー、ドヴォルジャーク、R. シュトラウスという当時最高の作曲家を指揮台に招き、作曲家自身の作品を共に演奏してきたという事実だ。ブラームスがドレスデン・フィルを指揮してどの交響曲を演奏したかなど詳しい資料は残されていないが、1897年に他界したブラームスが、もしあと10年長生きしていたら、ブラームスが指揮するブラームスの交響曲の蓄音機への録音が残されていたかもしれない(実際ブラームスの肉声とピアノ演奏は口管録音に残されている)と思うと残念だ。しかし、ブラームスをはじめとするドイツ音楽の真髄はドレスデン・フィルの楽団員の心に根付き、脈々と受け継がれてきた。ドイツ屈指の名門であり、ブラームスに最も近いオーケストラであったドレスデン・フィルが、「ベートーヴェンの10番目の交響曲」と激賞されたブラームスの最初の交響曲(第1番=1876年初演)と、老年に達した作曲家が残した最後の交響曲(第4番=1885年初演)の2つの交響曲を取り上げる今回の演奏会は、非常に意義深いものとなるだろう。

指揮はもちろんドイツ屈指の鬼才ミヒャエル・ザンデルリンク。カラヤンやバンスターインと並ぶ20世紀最大の指揮者クルト・ザンデルリンクを父に持つドイツ音楽界期待のサラブ

ブラームスが指揮した 名門ドレスデン・フィル

ワレリー・ゲルギエフ [指揮]
マリインスキー歌劇場管弦楽団
庄司紗矢香 [ヴァイオリン]

12月9日(土)
14:15 開場 15:00 開演 アークホール
S席 ¥13,000 A席 ¥11,000
B席 ¥9,000 P席 ¥8,000
曲目 ◆ チャイコフスキー: ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35
ムソルグスキー(ラヴェル編): 組曲『展覧会の絵』ほか

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※曲目・曲順等は変更の場合がございます。

5月20日(土) メンバーズ
5月27日(土) 一般発売

© Kishin Shinoyama

いることにお気づきのファンも多いはず。ゲルギエフはいまやウィーン・フィル、ニューヨーク・フィル、ロンドン響、ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場などにも客演を重ねる、時代を代表する名指揮者となったが、やはりその音楽の原点は30年もの間、家族のように音楽を共にしてきたマリインスキー歌劇場管弦楽団にある。いまなお進化を続ける魔術師ゲルギエフとロシア随一の名門オーケが繰り広げる「入魂のロシア・プログラム」に期待したい。



© V. Baranovsky

ミヒャエル・ザンデルリンク [指揮]
ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団

6月25日(日)
14:15 開場 15:00 開演 アークホール
S席 ¥8,000 A席 ¥7,000
B席 ¥6,500 P席 ¥6,000
曲目 ◆ ブラームス: 交響曲第4番 小短調 op.98
: 交響曲第1番 八短調 op.68

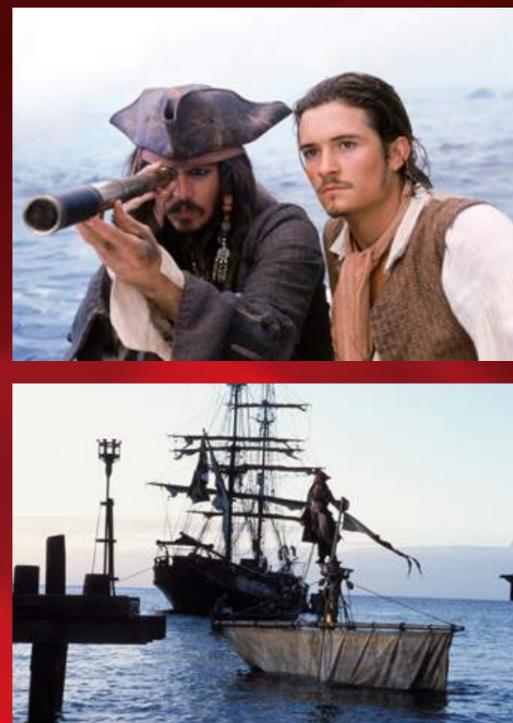
※未就学児の入場はご遠慮ください。
※曲目・曲順等は変更の場合がございます。

好評発売中

レットだ。ミヒャエルはもともとチェロ奏者として名声を博し、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団で首席奏者を務めたほどだが、父クルトの強い反対を押し切って指揮者に転向すると、すぐさまバイエルン放送響、ドレスデン・シユターツカペレ、ゲヴァントハウス管など一流オーケからオファーが殺到。日本でもドレスデン・フィルとのツアーのほか、N響、読響、都響に相次いで客演し、ドイツ音楽を中心にしたプログラムで絶賛の嵐を巻き起こしている。2つの傑作交響曲を並べた今回のブラームス・プログラムでも、豊かな伝統に裏打ちされた名演奏を聴かせてくれるだろう。

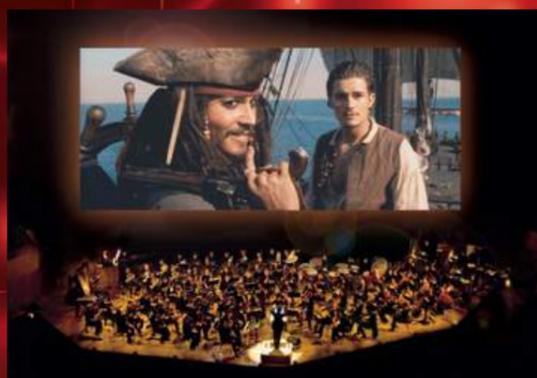


© Marco Borggreve



Disney on CLASSIC Premium Concert

『パイレーツ・オブ・カリビアン 呪われた海賊たち』フィルム∞オーケストラ



見どころ

① 迫力満点！ 映画まるごと上映！

映画『パイレーツ・オブ・カリビアン／呪われた海賊たち』全編を巨大スクリーンで。(英語上映・日本語字幕あり。途中休憩を含み約2時間40分程度の上演を予定。)アメリカ、イギリス、フランスなど世界各国で大人気を博したフィルム・コンサートが、遂に日本初上陸！ 東京国際フォーラムを皮切りに、全国13会場、15公演が開催されます。台詞や効果音はオリジナル映画そのままに、音楽の部分をステージいっぱいに広がる80名以上で編成されたオーケストラが観客の目の前で生演奏する贅沢なコンサートです。

② 国内で3会場だけ。「クラシックホール・スペシャル」公演！

「クラシックホール・スペシャル」バージョンは、所沢ミュージアム・東京芸術劇場・横浜みなとみらいホールのみ！それぞれの会場の特性を活かした楽器編成・演出を存分にお楽しみください。所沢公演では弦楽器を増員し、クラシック専用ホールの美しい響きをご堪能いただけます。

Disney on CLASSIC Premium Concert

『パイレーツ・オブ・カリビアン／呪われた海賊たち』フィルム∞オーケストラ

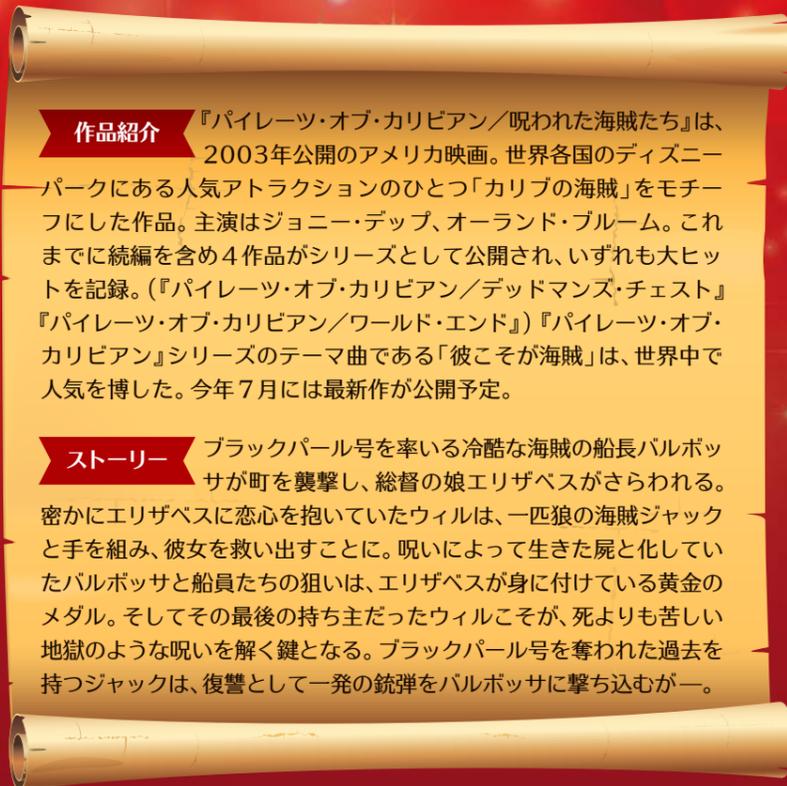
7月15日(土) 16:30開場 17:30開演 アークホール 全席指定 S席¥8,800 A席¥7,800 学生席 完売

出演：齊藤一郎(指揮)、THE ORCHESTRA JAPAN(オーケストラ)、ささきフランチェスコ(ナビゲーター)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

好評発売中

日本初上陸を見逃すな！
フルオーケストラで贈る
壮大なフィルム・コンサート
セリフや効果音はオリジナル映画そのままに、
音楽の部分を総勢80名以上で編成されたオーケストラの生演奏でお届け。
この夏、東京国際フォーラムを皮切りに、全国13会場で開催予定。
7月15日に行う所沢公演は国内で3会場だけの「クラシックホール・スペシャル」！
弦楽器を増員したオーケストラ編成でホールの美しい響きを堪能してください。



作品介绍

『パイレーツ・オブ・カリビアン／呪われた海賊たち』は、2003年公開のアメリカ映画。世界各国のディズニーパークにある人気アトラクションのひとつ「カリブの海賊」をモチーフにした作品。主演はジョニー・デップ、オーランド・ブルーム。これまでに続編を含め4作品がシリーズとして公開され、いずれも大ヒットを記録。(『パイレーツ・オブ・カリビアン／デッドマンズ・チェスト』『パイレーツ・オブ・カリビアン／ワールド・エンド』『パイレーツ・オブ・カリビアン』シリーズのテーマ曲である「彼こそが海賊」は、世界中で人気を博した。今年7月には最新作が公開予定。

ストーリー

ブラックパール号を率いる冷酷な海賊の船長バルボッサが町を襲撃し、総督の娘エリザベスがさらわれる。密かにエリザベスに恋心を抱いていたウィルは、一匹狼の海賊ジャックと手を組み、彼女を救い出すことに。呪いによって生きた屍と化していたバルボッサと船員たちの狙いは、エリザベスが身に付けている黄金のメダル。そしてその最後の持ち主だったウィルこそが、死よりも苦しい地獄のような呪いを解く鍵となる。ブラックパール号を奪われた過去を持つジャックは、復讐として一発の銃弾をバルボッサに撃ち込むがー。



所沢公演に向けて・・・

笑いでお客様のストレスを吹き飛ばすステージ創りを心がけています。ニュースのコントというジャンルはありますが、そんなことはありません。分かりやすいのも特徴のひとつです。

さて、今年は桜より先にニュースが満開になりました。そう例えるくらい大きなニュースがたくさんありました。そんな話題の人物の「決して聞けない本音」が、ザ・ニュースペーパーのステージで楽しく聞けます。

皆様、笑う準備をお願いします！



福本ヒデ

狭山市観光大使から見た埼玉とは・・・

埼玉人は控えめ人が多い。

「城下町の川越」「お茶の狭山」「デカすぎるレイクタウンの越谷」「せんべいの草加」「クソ暑い熊谷」「かき氷の秩父」「ねぎ…いや、ガリガリ君の深谷」「ライオンズの所沢…いや、山田うどんの所沢」…こんなにあるのに埼玉には何も無いという。

埼玉人は滅多なことでは怒らない。「埼玉はダサイタマ！」と言われても笑顔で頷く。しかし！心のなかではいつでも燃えたいと思いと情熱を持っている。

その秘めた炎にザ・ニュースペーパーが笑いの油を注いで完全燃焼させちゃいますよ！



浜田太一

政治、経済、芸能、スポーツなど様々な社会現象を、タブーを恐れず笑いに変える社会風刺コント集団「ザ・ニュースペーパー」が5年ぶりにミュージズに登場！日々刻々と変わるニュースを、スピードと柔軟性をもってネタに反映。さっき聞いたニュースがすぐに舞台上でネタになるなんてこともしばしば。ミュージズ公演が行われる6月30日には、どんなニュースが世間を賑わしているでしょう。旬なニュースをマーカーキーホールで笑い飛ばしてみませんか？！

ザ・ニュースペーパー

社会風刺コント集団

結成30周年を目前にして・・・

昭和から平成に変わろうとしていた、1988年ザ・ニュースペーパーは生まれた。歌舞音曲自粛ムードのなか、仕事を失った我々コントグループ3組8人が時事ネタばかりのお笑いライブを演ることになった。名前もザ・ニュースペーパーとし、2～3回ライブをできればいいと思った。それが何と来年30周年を迎える。よく続いたものだ。今のメンバー9人になってからは10年位たつ。

ニュースは鮮度が命！古くなったネタはどんどん捨て、常に前向きである。笑いを通して、庶民目線で何かおかしい、ひっかかるニュースをコントにする。この気持ちはずっと変わらない。ニュースがある限り、ザ・ニュースペーパーは、まだ、続く。



渡部又兵衛

ザ・ニュースペーパー 好評発売中
 6月30日(金) 18:15 開場 19:00 開演
 マーキーホール
 S席 ¥4,000 A席 ¥3,500
※未就学児の入場はご遠慮ください。

チケットのお求めは……ミュージズチケットカウンター
04-2998-7777

- 電話予約10:00～18:00/窓口販売10:00～19:00(休館日を除く)
- 発売初日は、お一人様6枚までとさせていただきます。
- ご予約いただいたチケットは、ミュージズチケットカウンターのほか、チケットぴあ、セブンイレブン、サークルK・サンクスにてお引き換えいただけます。

チケットぴあ **0570-02-9999** / <http://t.pia.jp>
 ローソンチケット **0570-000-407** / <http://l-tike.com>

※チケットぴあ・ローソンチケットともにインターネットでのチケット購入には事前登録が必要です。

ミュージズメンバーズ倶楽部 会員募集中! **主催公演の優先予約&チケット10%割引 入会金は無料 年会費2,000円**

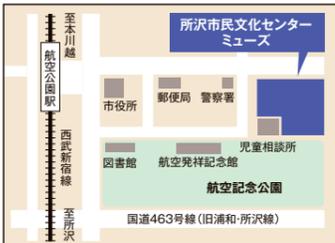
※公演情報は2017年4月25日現在のものです。曲目・出演者の変更やチケットが売切れとなることもございますので、ご了承ください。
 ※公演日当日、駐車場は大変混雑が予想されますので、公共の交通機関をご利用ください。
 ※P席はステージバック席です。

クラシック・ポピュラー・演劇・寄席など多彩で魅力溢れる公演を開催しております!

詳細はミュージズホームページでご確認ください。
<http://www.muse-tokorozawa.or.jp>



所沢ミュージズ



西武新宿線「航空公園駅」東口より徒歩10分・バス3分

金山茂人
 ミュースアドバイザー
 公益財団法人
 東京交響楽団最高顧問
 公益社団法人
 日本演奏連盟専務理事

音楽外野席

vol.73

先 日あるピアニストからリサイタルの招待状を頂いたので行って来た。大曲の多いコンサートだったが素晴らしい、これ程の実力者はないと思わせる立派な演奏だった。折角良い演奏会だったのだからケチをつける気持ちは、毛頭ないのだが彼女のピアニストとして成長を願う者として敢えてクレームをつけることにした。それは舞台上での表情がもう少し柔らかくであれば最高だった。音楽家である以上リサイタルともなると緊張もし必死だろうが、逆にそういう時こそ表情が重要なものではなかるか。聴衆にとって1曲毎、退場する瞬間も含めてコンサートなのだ。

そ の演奏会の2、3日後だったかテレビでフィギュアスケートのシェイリリン・ボーンさんというカナダ生まれの名選手が「奇跡のレッスン」と称して公開レッスンをやっていた。生徒はいつの日かオリンピック出場を夢見る子供たち。それを何となく見ていた僕は当初関心もなかったのだが、その内にかなる道も極めようとするならば同じだと気づいた。つまり今テレビで言っていることはテクニクも重要ながらその曲が終わった後の表情のことを言っているのではないか。このボーンさんというコーチは今日まで世界選手権のデュエットで優勝したことがあるばかりかオリンピックに3回出場しているという名選手であることもその時知った。彼女は子供たちに技術の大切さは無論だが、最終的には感情表現を如何に出すかが一番難しいと言っていたのだ。演技をしている時、審査員を始め観に来て下さっているお客様が如何に納得していただくかは表情が最も大切だということであり、そのことを一番強調していた。先日聴いたピアニストもあれ程優れた演奏、

をしておきながら曲毎に少し表情を和ませれば、イメージが違ったコンサートになったのではあるまいか。
話 は飛ぶが、相撲取りという現役力士は特に土俵上が決まると負けた相手への思いやりから表情を変えないのが礼儀という。だが今年の初場所稀勢の里が優勝し日本人として19年ぶりに横綱が誕生した。その時の優勝インタビューの時の一滴の涙と、続いて先日の大阪での春場所13日目に大怪我をしながらも大逆転で連続優勝し、君が代斉唱の最中にご両親の目の前で感極まって流した涙に多くのファンは感動した。しかし人間は一般的に大舞台であればある程実力を発揮できる図太い精神の持ち主はそうそういない。有名な国際コンクールともなると決勝まで残るには一次、二次と闘い抜き3週間前後ホテルに閉じこもり、い

表情あれこれ・・・

ざ決勝は緊張で顔が引きつり全身が震えるという。

一方、東響が今年で連続39年間主催しているニューイヤークンサートだが、その内37年間ソリストを引き受けて下さった中村紘子さんが昨年7月26日に惜しまれつつ亡くなられた。そこで今年には人気実力とも第一人者である小山実稚恵さんに出演をお願いした。この起用が大金星で満員のお客様は小山さんが奏でるショパンの二音、一音に固唾を呑んで聴き入った。その上、この日の舞台衣装は淡いピンクの刺繍が見事に映え、終了後の豊かだにこやかな表情と相俟って聴衆をすっかり魅了した。小山実稚恵さんとは来年2018年1月6日に決定している所沢ミュージズで協演するニューイヤークンサートが楽しみだ。

Kanayama Shigeto

富山県出身。国立音楽大学卒業。1963年、東京交響楽団入団、第1ヴァイオリンとして13年活躍。1976年、同楽団代表代行に就任。以後、代表を経て2005年まで専務理事・楽団長に就任、クラシック音楽業界の荒波を渡ってきた。1994年よりミュージズアドバイザーに就任。現在、東京交響楽団評議員長・最高顧問、日本演奏連盟専務理事ほか、数多くの要職を務める。新日録音楽賞特別賞(2008年)、埼玉文化賞(2013年)受賞など音楽界への貢献が高く評価されている。



小山実稚恵

MUSE 東京交響楽団 出演コンサート

東京交響楽団～気軽にクラシック～ 8月27日(日) 15:00 開演 アークホール

料金◆ S席 ¥4,000 A席 ¥3,500 B席 ¥3,000 P席 ¥2,500 好評発売中
 出演◆ ロッセン・ゲルゴフ [指揮]、南紫音 [ヴァイオリン]、加羽沢美濃 [ピアノ/ご案内]
 曲目◆ ラヴェル: ポレロ、サラサーテ: ツィゴイネルワイゼン、スメタナ: モルダウ ほか

MUSE ニューイヤークンサート 2018 2018年1月6日(土) 15:00 開演 アークホール

料金◆ S席 ¥5,000 A席 ¥4,000 B席 ¥3,500 P席 ¥3,000
 出演◆ 小山実稚恵 [ピアノ]、秋山和慶 [指揮]
 曲目◆ ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第2番、ドヴォルジャーク: 交響曲第9番「新世界より」 ほか

7月1日(土)メンバーズ
7月8日(土)一般発売

※未就学児の入場はご遠慮ください。

ステージレポート

Stage Report

2月4日
~3月30日

2017
2/4(土) ■ ホールオルガニスト梅干野安未が贈る
モーツァルトとめぐるヨーロッパ・オルガンの旅
〈アークホール〉 出演/梅干野安未 (Org)、澤江衣里 (S)、大山大輔 (Br)



モーツァルト・オルガンの旅

■ 所沢市生涯学習推進事業 番外・所沢寄席「三ヶ島亭」
〈三ヶ島まちづくりセンター〉

5(日) ■ **デビュー50周年記念 森山良子コンサートツアー**
2016~2017 ~ Touch Me... ~

〈アークホール〉
「さとうきび畑」「涙そうそう」など心にしみるヒット曲の数々と、
人柄溢れる楽しいトークで客席を魅了しました。最後は、森山
さんと客席と一緒に、デビュー曲「この広い野原いっぱい」を
歌い、ホール全体に大合唱が響き渡りました。



森山良子

■ あべや 津軽三味線スペシャルライブ
〈マーキーホール〉



あべや

10(金) ■ 石崎ひゅーい Tour2017 「アタラズモトオカラズ」
〈マーキーホール〉

11(土) ■ 所沢市生涯学習推進事業
小川紀美代 バンドネオンコンサート
〈山口まちづくりセンター〉



パイプオルガン500円コンサート

17(金) ■ “お昼どき”パイプオルガン500円コンサート
〈アークホール〉 出演/亀井優 (Org) 〈ゲスト〉上野耕平 (Sax)

■ 芸能生活35年 いっこく堂スペシャルライブ
〈マーキーホール〉



フルートはじめて講座

18(土) ■ ミューズアート・プレミアム⑨0 ~本と音楽の素敵な午後~
平野啓一郎 [芥川賞作家] ×三浦友理枝 [ピアニスト]
〈マーキーホール〉
曲目/シヨパン: アンダンテ・スピアナート、舟歌、ノクターン第8番 ほか

本と音楽の素敵な午後

19(日) ■ 初心者のためのフルートはじめて講座
(第1練習室)

25(土) ■ 所沢市生涯学習推進事業 番外・所沢寄席「新所沢亭」
〈新所沢まちづくりセンター〉

3/3(金) ■ 手島葵 10th Anniversary Concert 〈マーキーホール〉

4(土) ■ **千住真理子 ヴァイオリンリサイタル**
〈アークホール〉 曲目/ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ第5番「春」
クライスラー: 愛の悲しみ ほか

国民的ヴァイオリニスト千住真理子が久々にリサイタルで登場!
バッハ、モーツァルトでは澄んだ至高の響き、クライスラーやモンテ
では華麗なテクニクで聴衆を魅了。終演後のサイン会に詰めかけ
た多くのファンにも温かい言葉をかける姿がとても印象的でした。



手島葵



千住真理子

■ 所沢市生涯学習推進事業 番外・所沢寄席「新所沢東亭」
〈新所沢まちづくりセンター〉

12(日) ■ 劇団かかし座「魔法つかいのおとぎばなし」
〈キューブホール〉

18(土)~
20(月) ■ ミューズ シネマ・セレクション 世界が目にする日本映画たち Part17
〈マーキーホール〉



シネマ・セレクション



ギターに魅せられて

23(木) ■ ギターに魅せられて ~荘村清志と東京音楽大学の精鋭たち~
〈キューブホール〉

25(土) ■ 平成28年度ミューズパイプオルガンスクール生徒発表会
〈アークホール〉

■ 所沢市生涯学習推進事業 劇団かかし座「赤ずきん」
〈小手指公民館分館〉

30(木) ■ **ブラザーズ5 アコースティックライブ** 〈マーキーホール〉
出演/杉田二郎、堀内孝雄、ばんばひろふみ、高山巖、因幡晃



ブラザーズ5

写真撮影(市民カメラマン)/佐藤清一郎(2/4、3/4)、西山元博(2/5アーク)、由井一雄(2/5マーキー、18、3/20)、津田資雄(2/17アーク、3/23、30)、関沢賢(2/17マーキー、3/3)

今回のインフォ・マートは7月10日発行予定です。どうぞお楽しみに。